

生分解性マルチの効果確認試験

JA北はるか

竹中 隆



試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

試験作物
及び品種

南瓜(品種:くりゆたか)

試験資材
及び数量(規格)

きえ太郎Z ※旧商品名:コーンマルチII (0.015mm×95cm×600m)

慣行資材

サンバイオ(0.018mm×95cm×500m)

栽培方法

定植日	収穫日
6月11日	9月29日
【栽植密度】 畝幅: 380cm 株間: 70cm	

資材使用期間

慣行区: 6月上旬~9月下旬
試験区: 6月上旬~9月下旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品よりも伸びがあると感じたが展張時の作業性は同等程度。

試験品はマークが見にくかったため作業がしづらかった。マルチの内側に水滴がついている状態だとさらに見づらかったため、改良してほしい。

試験品は慣行品と比べるとマルチが透明なのでその影響もあるのではないか。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験品のほうが若干透明感は強いと感じた。慣行品と比較してマルチとしての機能面(雑草の量や保水性、生育等)の差は見られなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】: 印字の色が薄く見づらいため作業しにくい。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と比較して問題なかった。

(5)促成・抑制効果について

特に問題なし。水持ちについても慣行品と同等程度。

(6)保温効果について

慣行品と同等程度。

(7)雑草・病害虫の発生について

慣行品と同等程度。

モニター感想

センターマークの印字が薄く作業がしにくかったため、来季の使用は難しい。

マルチとしての機能面については、慣行品と同等程度だったため、印字が改良されれば価格面も考慮して使用を検討したい。

JA担当者の感想(生産資材課 立岡係長)

マルチの性能としては問題なさそうなので、マークが定植時に見えやすくなるように改善され慣行品と価格差が無ければ、また次回について検討したい。

今後の使用について

改良して欲しい。